CmoPathCutの使い方

CmoPathCutの仕組み

FBX→CMOに変換すると使用されているテクスチャ（DDS）やシェーダー（CSO）も一緒に出力されます。

各ファイル名がコンバート元のFBXのフォルダパスを含むファイル名になります。

ファイル名だけを取り出すために、追加されたパス名の箇所だけ削除したいのですが、どこまでがパス名なのかわかりません。

コンバート元のFBXのフォルダパスを/fで指定しています。

使い方

CmoPathCut.exe /f [コンバート元（FBXの入っているフォルダ）]　/c [cmoの出力先]

バッチファイルも一緒に上げてありますので、参考にしてください。

バッチファイルの環境はプロジェクトのカレントフォルダに下記フォルダを作成した場合を想定しています。

FBX （FBXとテクスチャ）

CMO （cmo出力先）

TOOLS （CmoPathCut.BatとCmoPathCut.exe）